

取扱説明書

UPS-47 Power Line Backup

取付の前に

この度はUPS-47電源補助ユニットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み頂き、正しい取扱い方法によりご使用いただけますようお願いいたします。

この取扱説明書は大切に保管してください。

安全上の注意



警告

- エアバック装着車、その他特殊な装置を装備している場合にはバッテリーの配線を抜くなどして電源供給を止めないよう留意してください。特殊な装置が誤作動する可能性があります。
- 取付の際に誤った配線をする、車両の装置、機器類を破損あるいは損傷する可能性がありますので、必ず正しい取付、配線を行ってください。

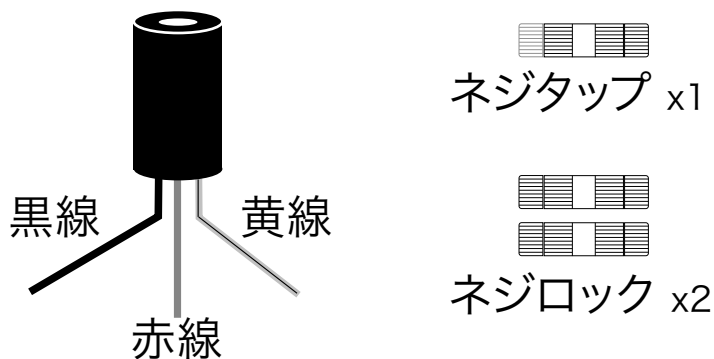
一般注意事項



注意

- 本製品は12V.D.C専用です。24V.D.C車へ取り付けると故障しますのでおやめください。
- 製品の取付を行う前に必ず本説明書をよくお読みください。
- 本製品を水、湿気、熱、湯気、ほこり、油等の多い場所に保管、設置しないでください。火災、感電、故障などにより死亡や大けがになる可能性があります。
- 本製品の取付には車両電装に関する詳しい知識と技術が必要です。取付は必ず車両電装に関する詳しい知識と技術をお持ちの取付店にて行ってください。専門の知識や技術のない方が取付を行うと車両、本製品の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。
- 本製品はエンジンルーム内には設置しないでください。
- 本製品は確実に固定してください。固定が不十分であると、故障の原因になったり、性能が十分に発揮されない可能性があります。
- 本製品は他の機器と干渉する場所や他の機器に影響を及ぼすような場所には設置しないでください。
- 本製品の取付時は換気と鍵の閉じこめ防止のため窓を開けて作業することをお勧めします。
- エアバックや盗難防止機能付ステレオを装備した車両の多くはバッテリーが外されたことを記憶する機能を有しています。この記憶状態をリセットするには専用のID番号が必要となり、その車両を購入したディーラーでなければ解除できないことがあります。
- 万一誤った設置や配線、車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障が発生しても当社では一切責任は負いかねます。

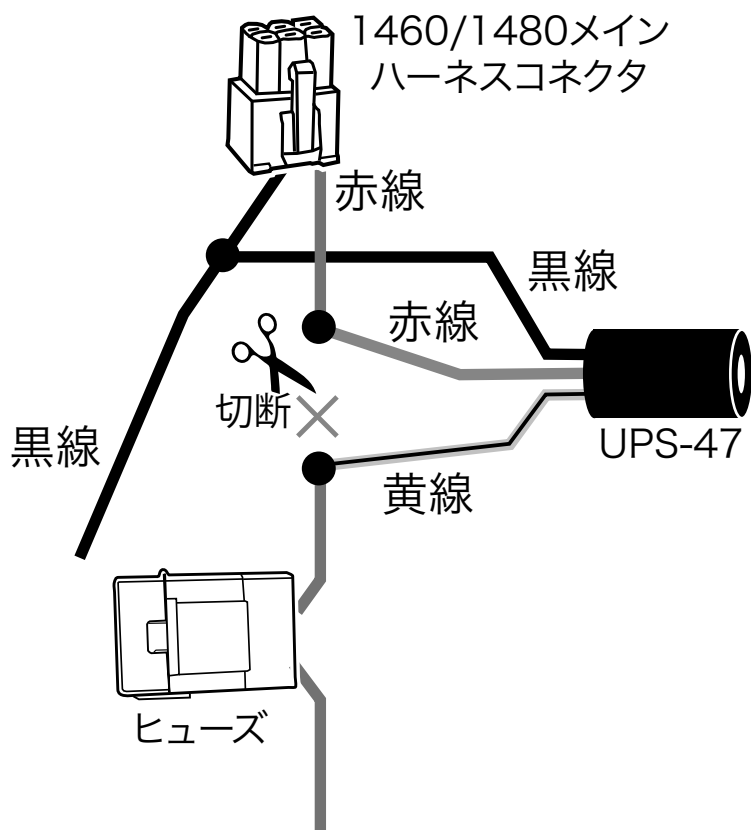
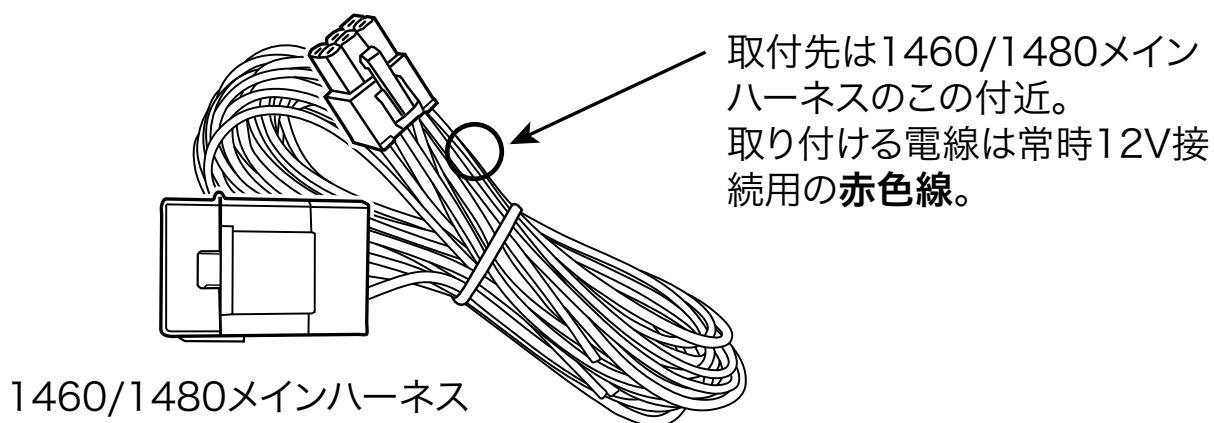
製品構成



配線概略表

電線色	接続先
赤	システム本体側へ接続
黒	ボディーアース (GND)
黄	電源供給側へ接続

接続方法



⚠️【注意!】

電線を接続する際は接続先の電線や電線の向きに十分注意してください。

間違えた接続を行うとシステムは動作しません。

特にUPS-47の黒線をシステムメインハーネスの黒線以外に接続するとUPS-47のみならずシステムを破損する恐れがあります。

電線の接続には必ず同梱のネジタップおよびネジロックを使用してください。

UPS-47の接続は必ず車両への取り付け前に行ってください。

補助電源ユニット《UPS-47》をご利用ください

近年、省エネ化、高燃費などの技術進歩の影響で、車両に標準搭載されているバッテリーのサイズが小さくなっています。

逆に、ドライブレコーダーや通信機能搭載のマルチオーディオ通信式レーダー探知機、カメラ・レーダーなどを搭載した安全システムなどの装備充実によって、走行中に消費する電力が大きくなっていることで、バッテリーの充電にかなりの時間がかかるようになっていきます。

もとよりバッテリーの寿命はおよそ2年（各バッテリーメーカーのHPでご確認ください）ですが、これら機器の影響でバッテリーにかかる負担は大きく、約1年経過すると劣化が顕著に現れます。

特に冬季は電圧が下がるため、注意が必要です。

《UPS-47》は特に以下のような車両へお勧めします。

- ・週に1日程度しか運転しない。
- ・毎日運転するが、20～30分程度。
- ・ドライブレコーダーを装着している。
- ・アルファード、ハイエース（姉妹車含む）
- ・タウンエース、ランドクルーザー（姉妹車含む）

（前述の8車種は新車購入1年で、エンジン始動時、走行中ドアロック動作時に、バッテリー電圧が瞬間的に5V以下（3～4V）程度まで落ちることを確認しています。）